

今号から「アジア研アフリカ通信」と題して、アジア経済研究所におけるアフリカ研究情報を掲載します。今回は、2000年1月から2001年1月までの情報です。

### 2000年度実施研究会報告

■「アフリカ比較研究の視座」研究会（平野克己主査）が2000年10月21日の会議をもって終了しました。最終成果は、平野克己編『アフリカ比較研究－諸学の挑戦－』として、アジア経済研究所より、2001年3月に刊行予定です。

■「現代アフリカの政治経済変動と農村社会」研究会（高根務主査）が同年11月10日の会議をもって終了しました。最終成果は、高根務編『アフリカの政治経済変動と農村社会』として、アジア経済研究所より、2001年3月に刊行予定です。

上記二つの最終成果の詳細については、本誌巻末の広告をご覧ください。

### アフリカ関連のアジ研刊行物

アジア経済研究所では、2000年に、以下6点のアフリカ関連の書籍を刊行いたしました。

- 武内進一編『現代アフリカの紛争－歴史と主体－』（研究双書）2000年1月刊 410p. 4600円
- 望月克哉編『ナイジェリア－第四共和制の行くえ－』2000年2月刊（IDE Topic Reportシリーズ）113p.
- African Rural Development Reconsidered*, March 2000. (International Workshop Proceedings, No. 2) 87p.
- Shin'ichi Takeuchi & Jean Marara, *Agriculture and Peasants in Rwanda: A preliminary report*, March 2000. (Joint Research Program Series, No.127) 106p.
- 高根務編『現代アフリカにおける国家、市場、農村社会』（調査研究報告書）2000年3月刊 238p.
- 平野克己編『アフリカ比較研究に向けて：諸学の挑戦』（調査研究報告書）2000年3月刊 259p.

### 『アジア ワールド・トレンド』

アジア経済研究所が編集・発行する分析情報誌『アジア研ワールド・トレンド』（月刊）では、2000年1月号

から2001年3月号までに、以下のアフリカ関連記事を掲載いたしました。

- 53号（2000年1-2月合併号）特集「発展途上国の発見－開発とは何だったのか－」◆高根務「『アフリカの輝ける星』の挫折」、望月克哉「開発の国際潮流と国家の選択」
- 56号（2000年5月号）特集「21世紀の発展途上国－グローバル化への挑戦－」◆平野克己「グローバリゼーション“コンプレックス”とアフリカン・ルネサンス」
- 59号（2000年8月号）ヴィクター・マトム／津山直子「フォト・エッセイ：モザンビーク／大水害を越えて」
- 61号（2000年10月号）特集「地域紛争と地域安全保障」◆牧野久美子「アフリカ／紛争多発地帯における『自前の地域安全保障』の模索」。佐藤章「分析レポート：コートディヴォワールの政治危機－争点なき多党制の閉塞－」
- 62号（2000年11月号）吉國恒雄「トレンド・レポート：ジンバブウェ／第二の民主化の波の到来」
- 63号（2000年12月号）特集「途上国研究とアジ研図書館」◆鈴木陽子「アフリカ」
- 64号（2001年1月号）特集「アフリカ百年の軌跡」◆川田順造「暗黒でも、栄光でもなく」、平野克己「特集にあたって」、古市剛史「人類の発祥はどこまでわかったか」、松田素二「アフリカと文化人類学」、吉國恒雄「アフリカの歴史化・歴史のアフリカ化－20世紀アフリカ史学の歩み寸描－」、佐藤誠「アフリカ認識とオリエンタリズム－シュバイツァーを見る眼差し－」、武内進一「アフリカにとっての『戦争の世紀』」、平野克己「アフリカの経済百年」。白川由紀「フォト・エッセイ：アフリカ大陸街道」
- 66号（2001年3月号）特集「新しい世紀を駆ける人々」◆津田みわ「ケニア／政治改革の若手旗手－ポール・ムイテ」、牧野久美子「南アフリカ／『アンタッチャブル』は生き残れるか－ウィレム・ヒース」

### その他研究所出版物でのアフリカ関連記事

- 原田陽子「エチオピア国におけるセクター開発計画策定作業」『アジア経済』第41巻4号
- 絵所秀紀「峯陽一著『現代アフリカと開発経済学』

市場経済の荒波のなかで』(書評)『アジア経済』第41巻9号

■稲泉博巳「Jane I. Guyer, *An African Niche Economy: Farming to Feed Ibadan, 1968-88*」(書評)

『アジア経済』第41巻1号

■藤本義彦「Gerard Kester & Ousmane Oumarou Sidibe eds., *Trade Unions and Sustainable Democracy in Africa*」(書評)『アジア経済』第41巻10-11号

■Tsutomu Takane, "Incentives Embedded in Institutions: The Case of Share Contracts in Ghanaian Cocoa Production," *Developing Economies*, Vol.38, No.3.

■Katsumi Hirano, "Globalization and African Renaissance," in Ippei Yamazawa, ed., *Developing Economies in the Twenty-first Century: The challenge of globalization*, 2000.

#### 研究所刊行物の入手・購読方法のご案内

■本誌ならびに、以上のアフリカ関連出版物をご希望の方は、アジア経済研究所研究支援部・販売担当までご連絡ください。連絡先は、TEL 043-299-9735, FAX 043-299-9736, E-Mail:syuppan@ide.go.jpです。

#### 海外客員研究員 (Visiting Research Fellow)

テゲンニ・ゲブレングジヤブヘル氏 (Dr. Tegegne Gebreegziabher)。エチオピア・アジスアベバ大学開発研究所所長。研究課題は「エチオピアにおける社会制度と地域の発展」、滞在期間は2000年10月19日～2001年4月18日までです。日本語を習ったり、空手を習ったり、日本をもっと知ろうとアクティブに活動しています。

#### 海外通信

現在、以下の2名が、長期の海外調査中です。

■望月克哉：10年ぶりにラゴスにもどり、「古巣」のナイジェリア国際問題研究所の客分として暮らしています。すっかり偉くなった、かつての同僚たちの力を借りて、アフリカ社会における新興アクターをテーマに共同研究を画策中。NGO・NPO、ビジネスグループ、新興宗教、「青年(若者)」といったトピックが並びました。目下、市民社会の暗部、犯

罪集団に切り込んで(?)くれる人物を探しているのですが、はてさてどうなりますことやら。

■吉田栄一：2001年9月までは英国ダーラム大学において集積やネットワーク、リスクの観点から、東アフリカ中小企業論を研究しています。不思議なことに、ポストコロニアルやポリティカルイコノミーで盛り上がるのは欧米人グループで、途上国出身者は専ら教条的新古典派が多数をしめています。「アフリカの合理性」を探求する小生にとっては、若干寂しい環境でもあります。

E-Mail: Eiichi.Yoshida@durham.ac.uk

#### 編集後記

『アフリカレポート』は成長する雑誌である。日本のアフリカ研究の進展からエネルギーを注入されて、この16年間で随分と変わってきた。御覧のとおり今号から表紙を刷新する。表紙だけではない。新たに投稿規定を載せ、投稿学術誌としてのアイデンティティを掲げた。紙幅の制約は逃れ難いが、全国のアフリカ関係者に広く門戸を開きたい。また、新機軸として「アジ研アフリカ通信」を加えた。アフリカ研究事業のほかにも、当所ではさまざまな媒体でアフリカニストの仕事を発表している。今回はまずそれらを紹介した。現在2名いる海外駐在員の情報も今後は定期的にお伝えしたい。社会科学系アフリカニストが集積するアジ研には、アフリカに関する情報が自ずと集まってくる。当所で働くアフリカニスト10名の目と耳を共有して頂きたいと思う。『アフリカレポート』は、学界の公器たりたいと切に願うものである。(平野記)

#### アフリカレポート 第32号

2001年3月31日発行

編集・発行 日本貿易振興会 アジア経済研究所

編集 地域研究第2部

発行 研究支援部

〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3-2-2

TEL 043-299-9735 FAX 043-299-9736